

6 - 5 東京深層地震観測井の計画（第2報）

防災センター

横浜ニュータウン予定地にて、本年6～7月行なわれた地震探査の結果、予想された通り、多摩丘陵附近の基盤（先第3紀層）深度は深く、海面下4.9～5.3 km程度と推定され、東京都内は西の郊外の山麓を除けば基盤深度は4 km以上と推定されるに至った。

地震観測井の1号井は、前回（会報第1巻）報告したような内容で予算要求を行なった。設置予定地点は岩槻市内で市街地南南東、約4 km、元荒川沿いの荒地（国有地）である。現在主として計測装置とケーブルについて技術的検討をすすめている。